

平成15年度 文学部 授業計画表[syllabus]

科目名 生活科概論 (英文名) Introduction to Life Environment Studies	2単位 (春 期)	(ふりがな) こみやま きよこ 担当者 小宮山 潔子 e-mail kkomiya@kokushikan.ac.jp
授業のねらいと概要: 生活科とはどのような教科であるかについて多方面から追及し生活科全般にわたって基礎的な理解を深める。		
教科書: 小宮山潔子「生活科教育の展開」学文社		
参考図書:		
評価法: 春期試験(80%)、製作物、提出物(20%)		
具体的評価方法等:		

【授業計画】

回 数	講 義 テ ー マ と 概 要
第1回	生活科の本質 学校で教科として生活を教えるとはどういうことか。よき生活、よき人生をめざすとはどういうことか。
第2回	生活科誕生の背景 生活科が誕生した経緯及びその背景。生活科が求められた現代という時代。
第3回	生活科の目標 学習指導要領に定められた生活科の教科目標、及び学年目標について。
第4回	生活科の授業内容(1)ー(2) 学校探検、通学路、家族、家庭生活、家族ペープサート製作活動
第5回	生活科の授業内容(3)ー(4) 地域の生活、近隣の人々、公共物の利用。電車利用方法についてのレポート。
第6回	生活科の授業内容(5)ー(6) 季節や地域の行事、身近な物の利用、遊びの工夫。牛乳パックを用いたブーメラン製作。
第7回	生活科の授業内容(7)ー(8) 飼育、栽培、自分への気付き、意欲的な生活、人々への感謝。飼育活動についてのレポート。
第8回	生活科における製作活動 廃物を利用した玩具、動く玩具、行事にちなむ玩具 それぞれの製作活動の計画、活動展開。
第9回	生活科の先行的実践 これまでにもあった生活科実践例について。総合学習、合科学習、環境科、散歩科他。
第10回	生活科の思想 教育思想上にみる生活科的考え方について。自然主義、児童中心主義、生活陶冶主義他。
第11回	生活科の教師 生活科を担当する教師のあるべき姿について。「指導ではなく援助」とは、「気付き」とは。
第12回	生活科の評価 教科である以上避けられない評価について。新しい評価観とは。
第13回	試験